

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第8回 栃木中央地域会議
開催日時	令和8年1月27日(火) 18時37分開会～20時03分閉会
開催場所	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 1階 大交流室
出席者及び欠席者氏名	別記1のとおり
事務局職員職氏名	別記1のとおり
その他出席者等	なし
会議事項	別記2のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	なし
会議の経過(議事の要旨)	別記3のとおり

別記1 出席者及び事務局

○出席者

会 長	下枝 順子	副会長	羽石 昌弘
委 員	有馬 小枝子	委 員	大塚 未来
委 員	市川 彩乃	委 員	平本 重子
委 員	水越 房代	委 員	岡田 真由美
委 員	松本 真由美	委 員	宇佐美 沙弥香
委 員	岩出 律子	委 員	小林 孝司
委 員	大澤 佳子		

以上 13名

○欠席者

委 員	堀越 元樹	委 員	浅野 暖斗
-----	-------	-----	-------

○事務局

【地域振興部】

青木 稔彦（地域政策課主幹兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）

上原 尚之（地域政策課主任）

増村 佳奈（地域政策課主事）

○その他出席者

横倉 悟史（教育委員会事務局文化課長）

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について

（2）蔵の街広場観光案内板の移設について

（3）地域予算提案事業の検討について

4 その他

・次回の開催日程について

日 時 3月10日（火）18時30分から

場 所 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 大交流室

5. 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>議事に入ります。</p> <p>(1) 栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について</p> <p>担当より説明をお願いします。</p>
担当	<p>【担当より説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>何か質問はございますか。</p>
委員	<p>栃木市の財政状況が厳しいと言われていますが、計画に記載されているものすべてを行うのは難しいのではないのでしょうか。</p> <p>特に重点的に予算を確保したいものなどはあるのでしょうか。</p> <p>また、実際にはどの程度の額を使うことができるのでしょうか。</p>
担当	<p>現在実施中のことを継続するものについては、一定の予算は確保できると思われ ます。</p> <p>今後新たに強化していくものについては財政部局との協議が必要であります。</p> <p>この計画は、市の文化財に対する保存・活用に関する方針であり、予算要求時 において重要視してもらえるのではと考えております。</p> <p>本計画は文化財保護法に位置づけられたもので、新たな補助金の活用等、財政的 メリットも期待できます。</p>
委員	<p>近年、多くの古文書が消失しています。古文書館を作ってほしいという市民の長 年の要望を実現してほしいと思っています。</p> <p>水害での被災をきっかけに廃棄されたり、代替わりで後継者に処分されたりする 事案を見聞きしており、対策が必要です。</p>
委員	<p>個人が持っている書物の保存についてどのような取り組みをしているのでしょ うか。</p>
担当	<p>市への寄贈についての申し入れを受けることがありますが、対応に苦慮している のが実情であります。</p> <p>問合せを受けた際には、学芸員が現物を確認のうえ、保管方法を教示しておりま</p>

委員	す。 「栃木市の宝」として文化財をどのようにしていきたいと考えているのでしょうか。
担当	本計画は文化財を保存、活用するためのものであるが、目指すものは継承であります。 将来に向けて保存だけでなく、活用していくという方向性で考えております。 ここにおける「活用」には「公開」「文化観光」なども含んでおります。
委員	資料を読んで、文化的価値のあるものの多さに驚き、誇らしい気持ちになりました。 栃木市の地域振興に活用できればよいと思いました。 市民の力で残ってきた文化だと思うので、若い世代に継承できるよう知恵を絞っていききたいと思います。
委員	文化的資料を閲覧したく、文化課を訪問したところ、認められなかったことがあります。 若い世代に継承していくためには、資料を誰でも閲覧できる状態にしていくことが重要だと思います。 デジタル化することも検討してほしいと思います。 一見価値が低いと思われる資料であっても、重要な史実とのつながりがあるケースもあり、積極的に保存していくことが大切だと思います。
委員	現在、地域予算提案事業の検討にあたって、「栃木アーカイブ作り」という案がでています。実際に提案事業になるかわかりませんが、大切なことだと思いました。
担当	デジタルアーカイブの構想はありますが、様々な制約によりなかなか進んでいないのが実情であります。
会長	ありがとうございました。それでは、次の議事に移ります。 (2) 蔵の街広場観光案内板の移設について 事務局より説明をお願いします。
事務局	【事務局より説明】

会長	<p>ありがとうございました。 何か質問はございますか。</p> <p>(質疑なし)</p>
会長	<p>それでは、次の議事に移ります。</p> <p>(3) 地域予算提案事業の検討について</p> <p>副会長より説明をお願いします。</p>
副会長	<p>【副会長より説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域予算提案制度の概要についての再確認 ・他地域会議における令和8年度事業提案時の検討過程に留意されたい
会長	<p>ありがとうございました。 何か質問はございますか。</p> <p>(質疑なし)</p>
会長	<p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局より説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回会議での審議をもとにとりまとめた事業案について、事務局として地域予算提案制度に基づく提案が難しいと思料されるもの及び今会期での提案が難しいと思料されるものについて伝達（事業案一覧については別紙参照） <p>No.1 お土産の検討</p> <p>全市的なものとして他地域会議との共同提案を前提に次会期での検討いただくことが適当と思料されます。自主的審議案件として提言することもできると考えられます。</p> <p>No.7 五差路の看板の整備</p> <p>地域内に複数ある五差路が戦国時代の街路の名残ではないかとのことで提案いただきましたが、事務局で調べた限りでは明確には判明しませんでした。</p> <p>No.9 団体を呼び込む昼食場所の整備</p> <p>大規模な飲食店等の整備は地域予算提案制度に基づき実施するのは困難となります。</p>

No. 10 観光客が休める椅子の整備

前会期の提案により令和7年度事業として実施されております。
今回の整備状況を踏まえたうえで、次会期以降に検討いただくことが適当と思料されます。

No. 11 植栽の整備

前会期の提案により令和7年度事業として実施されております。
植栽の生育状況やその後の維持管理の状況を踏まえたうえで、次会期以降に検討いただくことが適当と思料されます。

No. 16 ドローン競技大会

巴波川上空等屋外で実施する場合、各種法令上の問題に加え、現場での安全確保が困難であることから実施は難しいと思料されます。

No. 17 多種多様なイベントの開催

年間を通した多数のイベントを開催するという提案かと認識しておりますが、事業量が多くなることから会期を通して検討が必要となり、今会期での提案は難しいと思料されます。

No. 22 栃木市の文学賞の実施

事前の広報や作品の執筆や審査に要する時間の確保等の観点から、当年度内での実施が可能なのかといった懸念があります。
また、一般的にこうした事業は中長期的に継続して実施される多いと認識しております。単年度事業としての実施は馴染まないのではないかと思料されます。

No. 23 大人若者市長との対話会

既に市の公聴事業として類似したものが実施されており、地域予算提案制度には馴染まないものと思料されます。

No. 24 盆踊り大会

大規模なものは栃木中央地域内では開催場所の確保が困難になることが思料されます。
また、蔵の街サマーフェスタ等、既存の類似イベントとの明確な差別化が必要になると思料されます。

No. 26 駅前に若者が集まれる場を整備

事業費が高額となり、地域予算提案制度での実施は困難と思料されます。

	<p>No. 28 アートインレジデンスの設置・No. 29 ゲストハウスの設置 事業費が高額となり、地域予算提案制度での実施は困難と史料されます。</p> <p>No. 31 蔵に栃木の歴史がわかる歴史館 当年度での完結が難しいことから、地域予算提案制度での実施は困難と史料されます。</p> <p>No. 32 企業等への蔵利活用のPR事業 地域予算提案制度により予算を付与して実施することには馴染まないと思料されます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 何か質問はございますか。</p>
委員	<p>お土産の検討について、他の地域会議との共同提案ではなく、栃木中央地域独自のお土産を検討するとよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>栃木中央地域独自のものであれば提案は可能であります。実施形態について十分に精査することが必要と考えられます。 実施する場合は令和9年度のみという前提になります。</p>
委員	<p>社会実験的なものとしての実施でもよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>単年度であれば提案できますので、今後の審議の状況を踏まえて、必要があれば関係課と協議します。</p>
委員	<p>文学賞について、単年度の事業でもよいのではないのでしょうか。 他自治体でも少額の賞金で実施している例があります。</p>
事務局	<p>今後の審議の状況を踏まえて、必要があれば関係課と協議します。</p>
委員	<p>栃木駅構内に居酒屋がありますが、どのような形態で営業しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>高架下の店舗は鉄道会社の敷地で民間事業者により営業されているものです。</p>
委員	<p>五差路の看板の整備は必要なのでしょうか。 蔵ミュージゼとの活用して五差路に関する事業を実施すればよいのでしょうか。</p>

事務局	事務局として調べた限りでは、戦国時代との結びつきについて明確に判明しませんでした。
委員	錦着山付近の五差路は大正時代に整備されたもので、石碑にその経緯が刻まれています。そうしたものを活用するのもおもしろいと思います。周辺には鍋山人車鉄道の名残も見られます。
委員	この事業を提案したのは自分ですが、この話をきいておもしろいと思いました。
委員	デジタルサイネージは高額になり、提案限度額を圧迫するのではないのでしょうか。 看板の整備は過去にも実施されていることから今回は見送りでよいと思います。ちょうちんをかけるイベントについては行灯まつりや竹あかり等、他の類似イベントがあることから見送りでよいのではないのでしょうか。
委員	類似イベントは承知していますが、夏の夜に巴波川沿いにちょうちんが吊るされるとよいのではという意味で提案しました。
委員	植栽の整備については、本年度に実施している植栽の整備の結果をもとに、生育具合や維持管理の状況を踏まえて検討してはと思います。
副会長	イベント系の提案は地域の認定まちづくり実働組織との協働がポイントとなります。栃木中央実働組織が運営の一翼を担える事業なのかも含めて検討が必要だと思います。 また、ハード事業についてはソフト事業との結び付けが必要になると思います。
委員	文学賞については何故できないのでしょうか
事務局	一切実施できないことはないかと思料されますが、単年度での実施の場合は、年度内での完結が難しくなることが見込まれます。次年度への繰越はできません。
委員	文学賞はメディアへのアピールにもなることから、単年度であっても実施するとよいと思います。
委員	文学賞ではありませんが、市内の市民活動団体が狂歌集を発行しました。全国から96の応募がありました。できる規模で実施すればよいと思います。
会長	今後、5事業程度に絞り、最終的に3事業程度を市に提案できればと考えております。

	特に推したい事業がある方はこの機会に是非発言をお願いします。
委員	私は栃木アーカイブ作りを推したいと思っています。以前、ある市民活動団体に母校のアーカイブを作成してもらい、感動したことがあります。
事務局	実施の可否及び実施形態は所管課の意見を踏まえて検討することとなりますので、協力団体として特定の団体を定めて提案するのは難しいと考えられます。
会長	今回発言がなかった方、せっかくの機会なので、ご意見ををお願いします。
委員	事業の選定にあたっては得票数での選定にこだわらず、委員の皆さんが納得できる形での検討がよいと思います。
委員	橋や堀を活かしたスタンプラリー事業を是非実施してほしいと思っています。
委員	駅構内のコーヒーショップのスペースについてはキッチンカーを想定してるのでしょうか。
事務局	事業者に貸出する簡易的なブースの整備になると考えられます。
委員	私はお土産の検討を推したいです。
委員	私はこどもや若年層が楽しめる事業をやりたいと思っています。地域で活動している各種団体との連携も重要だと思います。 駅構内のコーヒーショップのスペースは高校生が集えてよいと思いました。
委員	五差路に関する事業について、おもしろい歴史があるので、是非実施できたらと思います。 レンタサイクルについても是非充実させてほしいので、何かしらの事業ができたらと思います。
委員	私はコスプレイベントを是非推したいと思います。 お土産については個人的に研究してみたいと思っています。 お土産は今会期での検討時間が足りないと思います。
委員	どの事業も良いものばかりで、大変興味深いと思いました。
会長	ありがとうございました。 時間となりましたので、本日の議事は終了となります。

第7回栃木中央地域会議での検討による事業案一覧

No.	事業案
1	お土産の検討
2	栃木市観光アプリ「蔵ミュゼ」の充実
3	蔵ミュゼを活用したスタンプラリー事業の充実
4	オリジナルマンホールの設置
5	観光マップの作製
6	デジタルサイネージの整備
7	五差路の看板の整備
8	駅前から中心部にかけての看板の整備
9	団体を呼び込む昼食場所の整備
10	観光客が休める椅子の整備
11	植栽の整備（花）
12	駅構内にコーヒーショップ等が日替わりで出店できるスペースの整備
13	レンタサイクルの周知
14	巴波川沿いでのおちょうちんをかけるイベントの実施
15	「小説に出てくる栃木市」をPRする事業
16	ドローン競技大会の実施
17	多種多様なイベントの開催
18	駅前でのイベントの充実
19	コスプレイベントの実施
20	大学生と高校生が企画した観光ツアーの実施
21	高校の探求学習等と連携して事業の企画
22	栃木市の文学賞の実施
23	大人×若者×市長の対話会
24	盆踊り大会の実施
25	学生とFMくらのコラボ事業
26	駅前に若者が集まれる場を整備
27	蔵や古民家を活用した事業の実施
28	アートインレジデンスの設置
29	ゲストハウスの設置
30	栃木アーカイブ作り
31	蔵に栃木の歴史がわかる歴史館
32	企業等への蔵利活用のPR事業

